

小平市下水道プラン進捗状況

《令和元年度実績》

～快適な生活環境を支える下水道～

令和2年9月

小 平 市

1 小平市下水道プラン進捗状況の公表について

小平市では、下水道事業をとりまく環境及び下水道が抱える課題を踏まえ、中・長期的な視点に立った今後の下水道事業のあり方（方向性）を示すことを目的として、下水道における総合的な計画「小平市下水道プラン」（計画期間：平成 23 年度～令和 2（平成 32）年度）を平成 22 年度に策定しました。

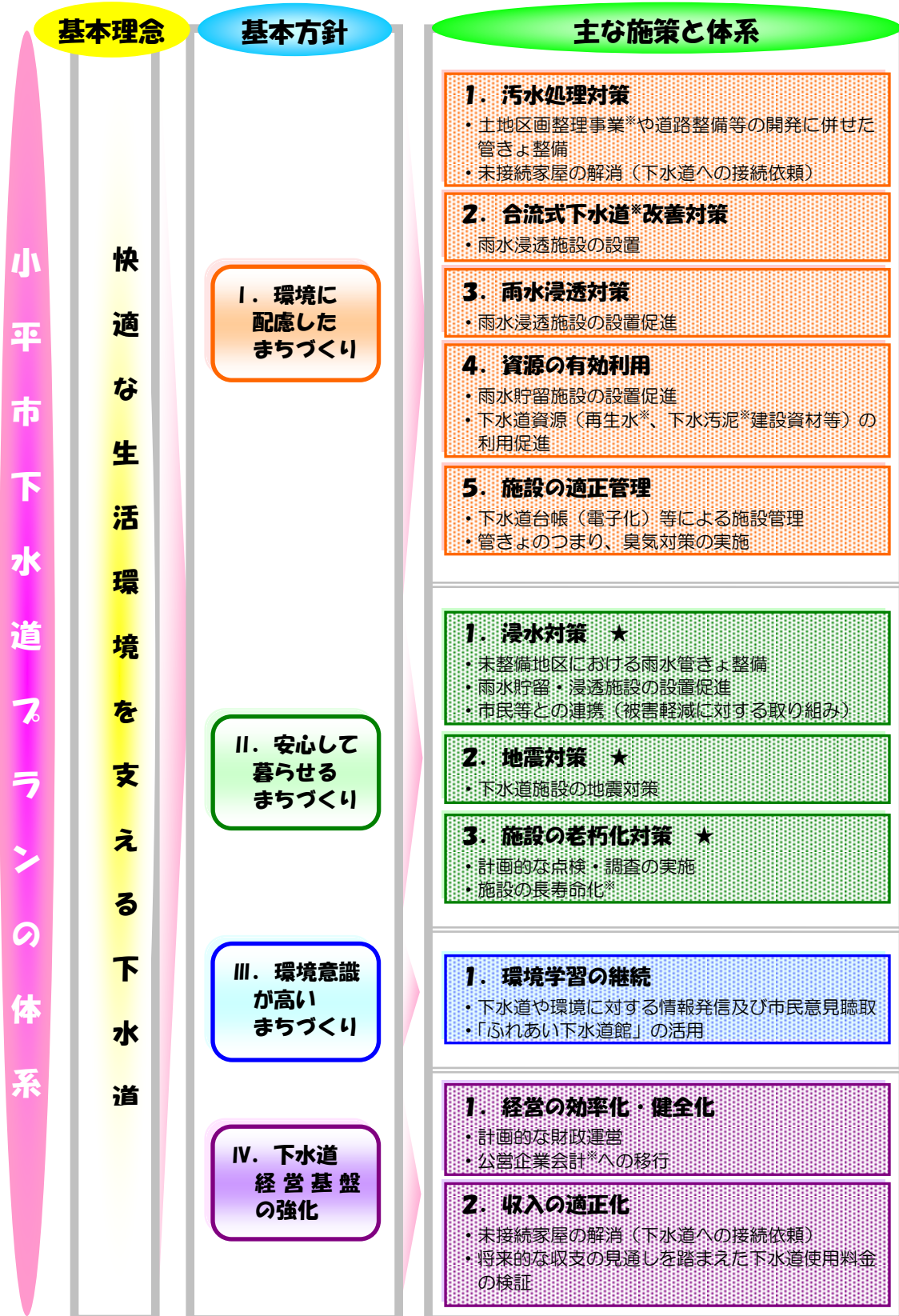
また、平成 27 年度に計画期間の中間年を迎えたことから、後期 5 年間の「後期計画」について見直しを行い、「小平市下水道プラン後期計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 2（平成 32）年度）として公表しました。

このたび、小平市下水道プランに基づく施策の令和元年度の進捗状況について取りまとめましたので、公表します。



2 小平市下水道プラン後期計画の体系

小平市下水道プランの基本理念「快適な生活環境を支える下水道」を実現するための基本方針及び後期計画の施策の体系を以下に示します。（★は後期計画における重点施策を示します。）



3 各施策の進捗状況《令和元年度実績》

小平市下水道プランに基づく事業の令和元年度の実績数値等を以下に示します。

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	令和元年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	1 汚水処理対策	(1) 土地区画 整理事業や道 路整備等の開 発に併せた管 きよ整備	目標 開発に併せた 遅滞ない整備	整備路線 0 路線 ・ 3 路線*	令和元年度実績なし (平成 28 年度：2 路線) (平成 29 年度：0 路線) (平成 30 年度：1 路線) 【後期計画目標達成率：60.0%】
		目標数値等 整備路線 ： 5 路線 (平成 28 年度から令 和 2 年度ま で)			
	(2) 未接続家 屋の解消（下 水道への接続 依頼）	目標 下水道への 接続促進	水酸化され ている可能 性が高い家 屋を中心に、 個別の聞き 取り調査及 び排水設備 の実態調査 を実施	個別訪問調査実施件数 2 件(20 世帯) 《参考》 水洗化率（％）＝下水道で汚水を処理してい る世帯数／処理区域内世帯数×100 (平成 22 年度末水洗化率：97.3%) (平成 27 年度末水洗化率：99.2%) (平成 28 年度末水洗化率：99.3%) (平成 29 年度末水洗化率：99.8%) (平成 30 年度末水洗化率：99.8%) (令和元年度末水洗化率：99.8%)	
2 合流式下水道改善対策	(1) 雨水浸透 施設の設置	目標 雨水浸透ます の設置	雨水浸透 ます設置数 20 基 ・ 80 基*	合流式下水道改善工事：1 件実施 20 基設置 工事箇所：小川西町一丁目・二丁目・五丁目 (平成 27 年度設置数（下水道課）：19 基) (平成 28 年度設置数（下水道課）：20 基) (平成 29 年度設置数（下水道課）：20 基) (平成 30 年度設置数（下水道課）：20 基) 【後期計画目標達成率：80.0%】	
		目標数値等 設置基数 ：100 基 (平成 28 年 度から令和 2 年度まで、 年間 20 基 程度)			

※は、下水道プラン後期計画初年度の平成 28 年度からの累計を示します。（以後同様）

土地区画整理事業	都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るため行われる土地の区画形質の変更及び公共施設の新設または変更に関する事業をいう。
合流式下水道	汚水及び雨水を同一の管きよで排除し、処理する方式。分流式に比べ管路施設の建設が容易（経済的・効率的）である一方、雨天時に汚水の一部が公共用水域へ未処理で排出されるため、汚濁負荷量、病原性微生物等による公衆衛生上の安全性、きょう雑物による景観に関する課題がある。（昭和 45 年 12 月の下水道法改正以降に策定された下水道計画は、分流式下水道により整備が行われている。）
雨水浸透ます	雨水ますの底部に穴を開け、その周囲に砂利を敷き並べ、そこから雨水を地下に浸透させるもの。

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	令和元年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	3	(1) 雨水浸透施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による設置促進 目標数値等 設置浸透量：約117m ³ /hr (平成28年度から令和2年度まで)	浸透量 23.4m ³ /hr ・ <u>93.6m³/hr</u> *	I-2「合流式下水道改善対策」による (平成28年度浸透量：23.4m ³ /hr) (平成29年度浸透量：23.4m ³ /hr) (令和元年度浸透量：23.4m ³ /hr) 【後期計画目標達成率：80.0%】
	4	(1) 雨水貯留施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による雨水貯留施設の設置促進 目標数値等 新規公共施設への雨水貯留施設の設置	雨水貯留施設設置数 0 ・ <u>4</u> *	(平成28年度設置施設数：1件) (平成29年度設置施設数：0件) (平成30年度設置施設数：3件) (令和元年度設置施設数：0件)
		(2) 下水道資源(再生水、下水汚泥建設資材等)の利用促進	目標 再生水の利用継続及び建設資材等の利用促進検討 目標数値等 再生材使用率：100%	再生材使用率 100%	市施工工事において、使用した鉄筋コンクリート管φ800~1350mm(L=168.08m)の全延長で再生材を使用。 (平成28年度再生材資材延長：φ700~1,000mm、L=298.01m) (平成29年度再生材資材延長：φ800mm、L=5.26m) (平成30年度再生材資材延長：φ700mm、L=4.1m) 【年度目標達成】
	5	(1) 下水道台帳(電子化)等による施設管理	目標 システムの継続的な活用 目標数値等 管路調査成果の取り込み(システム機能拡充)	管路調査成果の取り込みが可能な、新システムの構築完了	・平成30年度に構築した新規下水道台帳システムと固定資産台帳を連携させるためのシステムをカスタマイズした。
		(2) 管きよのつまり、臭気対策の実施	目標 下水道への排出に対するPR及び定期的な点検の実施 目標数値等 PR実施回数：3回/年	PR・点検等実施回数 6回	・これまでラード詰まりのあった店舗及び詰まりの可能性のある店舗合計67店について、公共汚水ます、排水設備及び周辺のマンホールの点検を行うとともに、各店舗にラード処理に関する定期的な清掃を依頼した。その中で管路内清掃を計4箇所実施した。 【年度目標達成】

再生水
下水汚泥

高度処理等によって、種々の再利用に適するようになった下水。
下水処理場等から下水を処理した際に発生する泥状物質。

基本方針	施策	後期計画期間 (H28~R2)	令和元年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
II 安心・こころ豊かに暮らすための施策 1 浸水対策 ★	(1) 未整備地区における雨水管きよ整備	目標 浸水被害歴がある地区の整備 目標数値等 浸水被害歴地区整備進捗率 : 100% (雨水管きよ整備率 : 21.1%)	浸水被害歴地区整備進捗率 0.2% ・ 97.9%** (雨水管きよ整備率 0.3% ・ 20.5%**)	雨水管渠築造工事：4 件実施 工事箇所：大沼町一丁目・二丁目・四丁目 浸水被害歴地区整備進捗率(%) = 浸水被害歴地区雨水管きよ整備済み区域面積 / 浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成 22 年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：77.1%) (平成 27 年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：92.3%) (平成 28 年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：94.5%) (平成 29 年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：95.5%) (平成 30 年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：97.7%) (浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積については、公共雨水管きよの未整備地区(分流式下水道区域) 654.6ha のうち、浸水被害歴のある雨水管きよの未整備地区 124.06ha を対象として算出。) 雨水管きよ整備率(%) = 公共雨水管きよ整備済み区域面積 / 公共雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成 22 年度末 雨水管きよ整備率：14.1%) (平成 27 年度末 雨水管きよ整備率：17.7%) (平成 28 年度末 雨水管きよ整備率：18.3%) (平成 29 年度末 雨水管きよ整備率：19.1%) (平成 30 年度末 雨水管きよ整備率：20.2%) (公共雨水管きよ整備対象区域面積については、公共雨水管きよの未整備地区(分流式下水道区域) 654.6ha を対象として算出。) 【浸水被害歴地区整備後期計画目標達成率：72.7%】 【雨水管きよ整備後期計画目標達成率：82.2%】
	(2) 雨水貯留・浸透施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による設置促進	—	対象施策：「I-2 合流式下水道改善対策」、「I-3 雨水浸透対策」、「I-4 資源の有効利用」を参照
	(3) 市民等との連携(被害軽減に対する取り組み)	目標 関係各課等との連携による浸水に対する情報提供や水防演習等の継続的な実施 目標数値等 浸水に対する情報提供、水防演習等の実施回数 : 3 回/年	情報提供及び水防演習等の実施回数 2 回	R 元.5.18 水防演習訓練 R 元.9.15 総合防災訓練 例年実施している応急給水訓練は台風 19 号の影響で中止 (平成 27 年度：3 件) (平成 28 年度：3 件) (平成 29 年度：4 件) (平成 30 年度：4 件)

※※は、下水道プラン後期計画初年度の平成 28 年度以前からの数値を含む累計を示します。(以後同様)

★は、重点施策を示します。(以後同様)

分流式下水道 汚水と雨水を別々の管きよ系統で排除する方式。

基本方針	施策	後期計画期間 (H28~R2)	令和元年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容	
II 安心・安全なまちづくり の推進	2 地震対策★	(1) 下水道施設の地震対策	目標 避難所へのマンホールトイレの設置 目標数値等 避難所におけるマンホールトイレ設置率：100%	マンホールトイレ設置率 0% ・ 100%**	平成 26 年度～平成 30 年度の 5 年度で、市内の全避難所 39 か所への災害用マンホールトイレ設置完了を目指す（後期計画期間では 28 か所設置予定）。 令和元年度実績なし 〔平成 30 年度設置予定であった小川西町公民館については、公共施設再編の基本計画の方針（令和元年度）により、設置の可能性がなくなったことから、設置可能な施設は全て完了し目標を達成した。〕 (平成 27 年度末設置箇所累計：11 か所) (平成 28 年度末設置箇所累計：19 か所) (平成 29 年度末設置箇所累計：27 か所) (平成 30 年度末設置箇所累計：38 か所) 【後期計画目標達成率：100%】
	3 施設の老朽化対策★	(1) 計画的な点検・調査の実施	目標 対策優先順位が高い地区の点検・調査の実施 目標数値等 点検・調査延長：105km (平成 28 年度から令和 2 年度まで)	点検・調査延長 28.2km ・ 87.9km**	平成 25 年度に策定した小平市下水道長寿命化基本構想に基づき、平成 26 年度から老朽化対策を目的とした下水道管路施設の点検・調査を実施している。 下水道管路施設調査業務委託：1 件実施 委託箇所：喜平処理分区（合流区域）の一部と重要な幹線の小川幹線、小川 4 号幹線 合流式下水道管：28.2km (平成 28 年度末調査延長累計：25.9km) (平成 29 年度末調査延長累計：47.2km) (平成 30 年度末調査延長累計：59.7km) (令和元年度末調査延長累計：87.9km) 【後期計画目標達成率：83.7%】
		(2) 施設の長寿命化	目標 事業計画における選定路線の長寿命化対策 目標数値等 長寿命化対策達成率：100%	長寿命化対策達成率 36.0% ・ 104.4%**	平成 27 年度に策定した、鈴木処理分区の長寿命化計画（計画期間：H28～R2、対策延長：3,471.9m）に基づき、平成 28 年度から鈴木処理分区の対策工事に着手。 長寿命化工事延長：1251.2m 〔下水道長寿命化計画策定後の詳細検討の結果、一部の路線を修繕から改築に切り替えたことより、対策延長が増となった。〕 (平成 28 年度工事延長累計：741.2m) (平成 29 年度工事延長累計：1625.1m) (平成 30 年度工事延長累計：2373.2m) (令和元年度工事延長累計：3624.4m) 【後期計画目標達成率：104.4%】

マンホールトイレ

災害時に、下水道管路にあるマンホールの上に簡易なトイレ設備を設け、使用するもの。

長寿命化

時間とともに老朽化していく施設の予防保全的な管理及び管きよ内面の被覆あるいは部分取替等により、施設の耐用年数を延ばし、機能を維持すること。長寿命化を効率的に行うため対策内容、規模、期間等を定める計画を「長寿命化計画」、施設の延命化を図り、かつ、ライフサイクルコストが安価となる対策のことを「長寿命化対策」という。

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	令和元年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
Ⅲ 環境意識の高まりへつなぐ 1 環境学習の継続	(1) 下水道や環境に対する情報発信及び市民意見聴取	目標	下水道事業への取り組みについてのPRの促進及び市民意見聴取	ホームページでの 情報発信回数 41回	学習講座のお知らせ：13回 特別講話のお知らせ：5回 イベント・展示会のお知らせ：15回 その他施策等に関するお知らせ：8回 (平成27年度更新回数：38回) (平成28年度更新回数：40回) (平成29年度更新回数：50回) (平成30年度更新回数：43回) 【年度目標達成】
	(2) 「ふれあい下水道館」の活用	目標	イベントの開催や展示の実施		

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	令和元年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容	
	Ⅳ 下水道経営基盤の強化	1 経営の効率化・健全化	(1) 計画的な 財政運営	目標 中期的財政見通しに基づいた計画的財政運営	検討中	・経営課題の整理・財政シミュレーションについて検討を行った。
目標数値等 経営戦略の策定						
(2) 公営企業 会計への移行		目標 公営企業会計への移行	移行完了	移行完了	・公営企業会計に基づき編成した令和元年度予算を執行した。	
		目標数値等 平成 28 年度より移行準備 令和 2 年 4 月までに移行				
2 収入の適正化		(1) 未接続家屋の解消(下水道への接続依頼) 【再掲】	目標 下水道への接続促進	未水洗家屋の調査及び現状分析	水洗化されている可能性が高い家屋を中心に、個別の聞き取り調査及び排水設備の実態調査を実施	個別訪問調査実施件数 2 件(20 世帯) 《参考》 水洗化率(%) = 下水道で汚水を処理している世帯数 / 処理区域内世帯数 × 100 (平成 22 年度末水洗化率: 97.3%) (平成 27 年度末水洗化率: 99.2%) (平成 28 年度末水洗化率: 99.3%) (平成 29 年度末水洗化率: 99.8%) (平成 30 年度末水洗化率: 99.8%) (令和元年度末水洗化率: 99.8%)
		目標数値等				
(2) 将来的な収支の見通しを踏まえた下水道使用料金の検証	目標 収支改善による経費回収率(汚水処理費回収率)の向上	経費回収率(汚水処理費回収率) 125.7%***	経費回収率(汚水処理費回収率) 125.7%***	経費回収率(汚水処理費回収率) (%) = 下水道使用料収入 / 汚水処理費 × 100 (平成 28 年度末: 129.3%) (平成 29 年度末: 131.3%) (平成 30 年度末: 153.8%) 経費回収率(汚水処理費回収率)とは、汚水処理に要した費用に対する下水道使用料の割合を表しており、下水道事業の経営状況を表す数値として用いられる。 【年度目標達成】		
	目標数値等 経費回収率(汚水処理費回収率) : 100%以上を維持					

経営戦略

各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画

公営企業会計

独立した企業として経営を成り立たせていく会計制度。これにより財政の適正化、使用料金の最適化等へ結びつき下水道基盤強化に直接繋がる効果が期待される。

下水道使用料

下水道の維持管理費等の経費に充てるため、下水道管理者が条例に基づき使用者から徴収する使用料金のこと。

小平市下水道プラン進捗状況
《令和元年度実績》

令和2年9月発行

編集・発行 小平市環境部下水道課

〒187-8701

小平市小川町二丁目 1333 番地

電話番号 (042)346-9846 (直通)

ファックス (042)341-9520

電子メール gesuido@city.kodaira.lg.jp

¥40